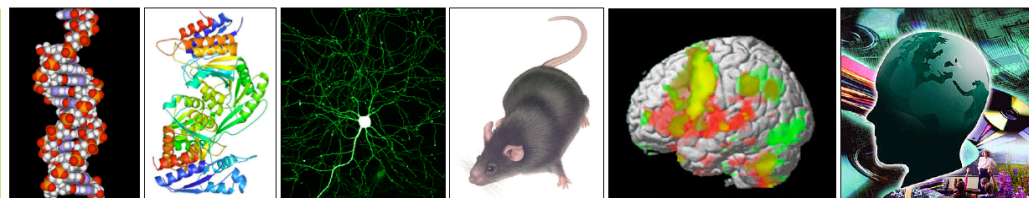
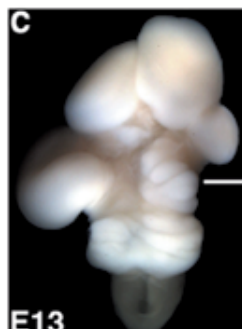
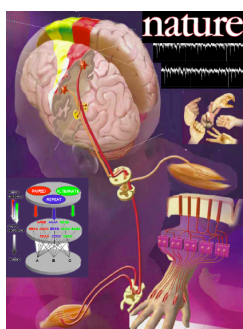


Neuroscience

TOHOKU
UNIVERSITY
GLOBAL
COE



脳神経科学を社会に還流する 教育研究拠点



東北大学はグローバルCOE生命科学分野における拠点を立ち上げます

今なぜ脳神経科学か？

新たなイノベーションの創出に向けて、国際的な人材交流などのグローバルな知の還流が求められている中で、脳神経科学分野は21世紀の生命科学研究におけるフロンティアです。そこで東北大学では、生命科学研究科および医学系研究科が中心となり、**脳神経科学のグローバルCOE拠点を**立ち上げることにしました。生命科学を基盤に据えた最先端の脳神経科学研究を展開するとともに、脳神経科学リテラシーを備えた人材を社会へ輩出することを目指します。

3つの研究分野

本COE拠点では、遺伝子から個体の行動までを扱う**ゲノム行動神経科学**、認知機能を脳と身体との相互作用によって理解する**身体性認知脳科学**、人間を取り巻く環境や人間同士の関連性までを包括する**社会脳科学**という新規の脳神経科学分野を推し進める研究を展開し、若手研究者を育成します。

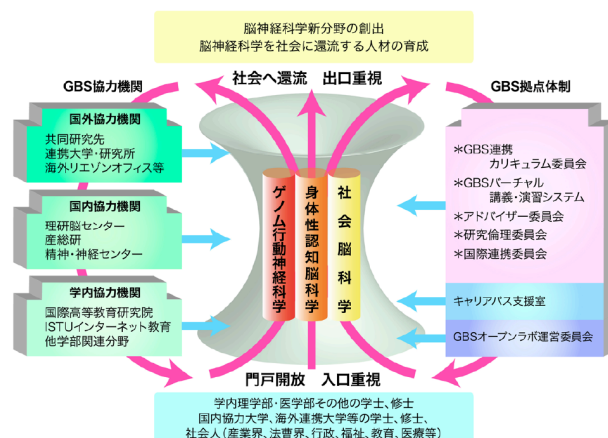
出口を重視した人材育成

本COE拠点では、育成されるべき人材が社会で果たす役割を意識した**アウトカム指向の教育**を提供することにより、新時代の脳神経科学を切り拓く若手研究者を輩出することを目指します。また、脳画像診断、脳数理、精神疾患診断治療、神経経済等の分野の研究者や、先端脳神経科学のリテラシーを社会に還流する教育学者や福祉・介護従事者、創薬や福祉機器の開発者、医療行政従事者等の新領域の人材を育成します。

若手育成の重視

国際的視野と果敢なチャレンジ精神を持った人材を育成するために、大学院生、ポスドク、若手研究者を含め、本COE拠点では国際支援のための包括的な国際的教育研究支

援基金である**支倉フェローシップ**により支援します。また、自ら新分野を開拓できる大学院生を育成するために、リサーチアシスタント（RA）に対して研究リーダーシップのトレーニングを行うとともに、博士論文研究を支援する目的で業績評価に応じて研究費を支給します。さらに、市民に向けて情報発信ができる人材を育成するために、教育的なアウトリーチ活動を行います。



東北大脳神経科学COE拠点



ロゴマーク：
脳をイメージした「COE」のデザインに東北大学医学部のシンボルマークとして使われていた北斗七星をアレンジしています。

問い合わせ先（拠点メンバー）

《ゲノム行動神経科学グループ》
大隅典子*（医）：osumi@mail.tains.tohoku.ac.jp
小椋利彦（加）：ogura@idac.tohoku.ac.jp
仲村春和（生）：nakamura@idac.tohoku.ac.jp
福田光則（生）：nori@mail.tains.tohoku.ac.jp
山元大輔（生）：daichan@mail.tains.tohoku.ac.jp
《身体性認知脳科学グループ》
飯島敏夫**（生）：t-iijima@mail.tains.tohoku.ac.jp
石黒章夫（工）：ishiguro@ecei.tohoku.ac.jp

筒井健一郎（生）：tsutsui@mail.tains.tohoku.ac.jp
虫明元（医）：hmushiake@mail.tains.tohoku.ac.jp
八尾 寛（生）：yawo@mail.tains.tohoku.ac.jp

《社会脳科学グループ》
糸山泰人（医）：yitoyama@em.neurol.med.tohoku.ac.jp
曾良一郎（医）：isora@mail.tains.tohoku.ac.jp
福土 審（医）：sfukudo@mail.tains.tohoku.ac.jp
森 悦朗（医）：mori@mail.tains.tohoku.ac.jp

*拠点リーダー
**拠点サブリーダー